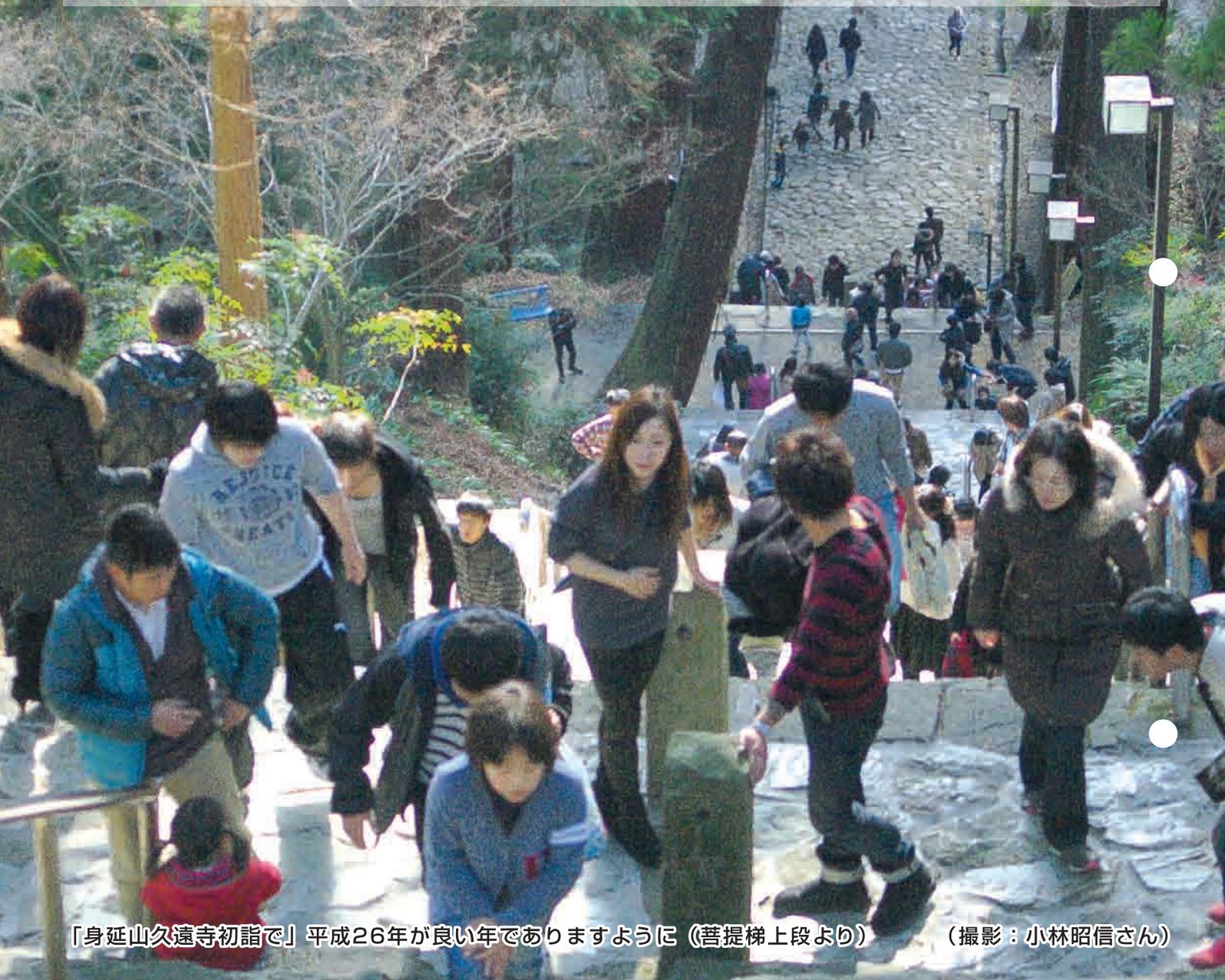


あなたと町政を結ぶ



# 議会だより



「身延山久遠寺初詣で」平成26年が良い年でありますように（菩提梯上段より）（撮影：小林昭信さん）

12  
月  
定  
例  
会

- 追跡（一般質問・あれはどうなった）・・・・・・・・・・P2・3
- 町長行政報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P4・5
- 12月議会で決まったこと 質疑応答・・・・・・・・・・P6～8
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・P9～12
- 臨時会・組合議会・・・・・・・・・・・・・・・・・・P13
- 議会日誌・広報研修報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・P14
- モニター通信・・・・・・・・・・・・・・・・・・P15
- 町内保育所・保育園めぐり（大野山保育園）・・・・・・・・・・P16

2014  
GIKAI DAYORI  
MINOBU  
No.37

# あの一般質問、どうなった

## ●「下部川」に小水力発電の建設を。

(平成24年9月定例会質問者：草間天議員)

**問** 下部川を利用した小水力発電の推進の考えは。

**答** 県の小水力発電モデル施設として、エネルギーの地産地消を目指し、大城川の砂防ダムの落差を利用した発電所建設に向けて、詳細設計に着手してもらうことになった。  
大城川小水力発電所の運営における経済性や管理等の状況を参考にし、整備が可能なのか検討していく。

**その後**

県は「クリーンエネルギー先進県やまなし」の実現と「エネルギーの地産地消」を目指し、大城川の落差を利用した、最大出力49kW、年間可能発電電力量が約37.4万kWhの発電所をモデル事業に着手した。  
・工期 平成25年9月から平成26年8月まで  
・運用 平成26年9月より売電開始の予定。



大城川砂防ダム

## ●化石燃料からECOエネルギーへ

(平成22年12月定例会質問者：野島俊博議員)

**問** 新エネルギー（ECO）への移行についての考えは。

**答** 新エネルギービジョン策定委員会を設置し、方向性を議論し検討していく。

**その後**

平成23年2月に「身延町地域新エネルギービジョン」の基本方針を策定し、今後の方向性として本町の特性を生かした「住宅用太陽光発電システム設置補助金交付要綱」制度により、支援している。  
今後も「太陽光エネルギー」を活用した環境にやさしい町づくりを進めていきたいと考えている。



民間による「太陽光発電パネル群」  
下山・国道300号線沿い(富山橋西詰)

# 追跡

議員の質問に、行政がどのように対応し、どのようになっているのか!

## ●地域における学校支援活動の推進は。

(平成25年9月定例会質問者：野島俊博議員)

**問** 地域ぐるみで子どもを育む学校応援団の取り組みは。

**答** 学校あるいは地域集落に任せて継続し、学校支援本部としての本来の趣旨を活かした活動を展開し、推進していく。

その後

大河内地域の集落ごとに、子どもたちを中心とした取り組みを計画、実践し、「地域の子どもは地域で育てる活動」を行ってきた。この度、この協議会の活動が認められ、「平成25年度優れた地域による学校支援活動」として文部科学大臣賞を受賞した。これからは、全町的に学校・家庭・地域が連携し、学習・環境整備・安全・学校行事などの支援活動に取り組んでいく。



「地域で学校を支える」学校応援団  
平成25年12月5日 文部科学省にて表彰を受ける

## ●仮称身延インターの名称を決める経過は。

(平成24年9月定例会質問者：草間天議員)

**問** 中部横断自動車道、仮称「身延インター」に「下部温泉」を入れてもらいたい。

**答** 具体的な考え方は示していない。町民の意見を聴きながら検討していく。

その後

インター名称についての具体的な動きはない。名称は概ね併用開始2年ぐらい前から準備にかかる。事業主体である国土交通省甲府河川国道事務所にて素案が作成され、身延町に意見照会があるが、決定権はあくまでも国土交通省にある。



中部横断自動車道「身延インター」工事状況  
八木沢地内(撮影;JR身延線・波高島駅ホームより)

# 町長行政報告

## 経常収支比率

## 前年度比2ポイント改善

### ●経常収支比率について。

本町の経常収支比率は73・3%となった。

歳入における町税は依然減少傾向にあり、一般財源の確保はますます厳しくなることから、町民サービスの低下を招かない中で、引き続き職員一人ひとりがあらゆる努力と工夫を重ね、経常的経費の節減・節約を行うよう徹底した。

### ●経常収支比率とは

どんなに家計が苦しくても、最低限の食費は毎月かかります。

地方公共団体も同じで、毎年かかる経費があり、それが自由に使える収入に対してどのくらいあるかを見る比率です。

### ●平成26年度予算編成について。

歳入・歳出の両面から事務事業の見直しを行い、施策の優先度を厳しく精査し、限られた財源の重点的、効率的配分を行うなど、最小の経費で最大の効果が得られるような予算を指示した。

### ●丸滝宮の前宅地分譲事業について。

発注までの協議に時間を費やし、完成予定が26年3月14日となる。販売は、26年4月より行う予定である。

### ●第28回 国民文化祭やまなつ2016について。

本町は3部門の事業を開催し、切り絵部門は、「国際切り絵コンクール・イン・身延ジャパン」と称し、富士川・切り絵の森美術館において9月7日から11月

10日まで開催した。

美術展「工藝」は、10月12日から11月4日まで、なかとみ現代工芸美術館にて開催し、応募作品数108点、入賞作品10点、奨励賞



国文祭 百人一首全国大会



10点、入賞作品73点を展示した。小倉百人一首かるた競技全国大会は、11月2日と3日に身延町民体育館にて開催し、41都道府県から選手役員約500人の参加があった。

### ●子ども・子育て支援の施策の推進について。

「子ども・子育て支援新制度」が、27年度から始まる予定。子育てを支えることは、将来のわが町、わが国の担い手育成の基礎をなす未来への投資であり、社会全体で取り組むべき最重要課題の一つである。

### ●本栖湖西岸でフジマリモの確認と、本栖湖周辺登山道整備事業。

文化遺産登録を機に本栖湖を訪れる観光客も増加し、更に、マリモ人気が加

### ○防災行政無線デジタル化とは。

市町村向け同報無線システムは、庁舎内に設置される親局設備や中継局設備、避難所に設置される屋外拡声子局及び個別受信機によって構成されます。

### ○メリットは。

- ・親局設備と各地域に設置した屋外拡声器間で電話感覚での連絡通話ができ、情報伝達が簡単になります。
- ・放送中でも親局設備と子局設備間の通信ができるので職員への連絡や災害現場からの緊急通話ができます。
- ・伝送の高速化により音声のみならず、データや画像の送受信が可能です。多様な媒体を活用することで、住民にわかりやすい行政サービスを提供することができま

●その他、市町村デジタル移動通信システムがあります。

算され、より多くの観光客が期待される。今後も利用者の安全確保を念頭に「本栖湖」のPRに努め、本栖湖から下部温泉、身延山への誘客を進めて行きたい。

### ●下部地区設置の防災放送音声告知機の不具合について。

11月1日から、下部地区防災放送音声告知機が下部支所に設置してあるセンター機の故障により放送ができない状態にある。

下部地区の皆さまには、防災行政無線デジタル化更新事業の運用までご辛抱、ご理解ご協力をお願いする。

### ●民の力、イベント2例

一つは、「ツール・ド・富士川」。11月30日富士川クラフトパークを発着点として、県内外から150人のサイクリング愛好家が集い、富士川流域の100kmを快走。

主催は、富士川流域サイクルエリア創設プロジェクト推進協議会であり、まさに、民の力。

12月1日には、身延山・



身延山・七面山修行走（トレイルランニング）  
スタート1分前（身延山山門）

七面山 修行走の第1回大会が、身延山の三門を発着点として実施された。身延山・七面山コースは、延長36kmで、累積標高2700mを、県内外から参加の193人（男性154人・女性39人）によって、紅葉路を走破。

身延山コースは13kmで、同じく県内外から185人

### ●トレイルランニング

主に、山などの自然の中を走るスポーツ。登山道や林道など、場の高低に関わらず、舗装されていない、自然に、若しくは意図的に踏み固められた道を走る。

（男性132人・女性53人）の皆さまの参加を得、全山紅葉の身延山を走破。両コース合わせて、378人（男性286人・女性92人）の参加があり、全員が事故もなく完走した。

### ●80歳男女の健康寿命「山梨が日本一」

県立大の小田切教授は、報道の中で「趣味や、スポーツの活動、無尽が盛んで、地域社会とのつながりが強く、高齢者が孤立せず、豊かな人間関係のある生活が維持されていることが、背景にあるのではないかと説明している。

町も、「身延いちいち運動」を推進しており、健康寿命山梨県一を目指せば、日本一の健康寿命の町になる訳であります。

行政は町民の皆さまが、住める町・住みたくなる町づくりに、全力で取り組んで行く。

# 一般会計補正予算

12月議会で  
決まったこと

平成25年度（千円以下切り捨て）

## 一般会計補正予算 賛成多数で可決

平成25年度一般会計は、歳入歳出予算総額に歳入歳出それぞれに、1億4,068万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ90億9,935万円としました。補正の主な事業としては、

●土地開発事業特別会計繰出金	5,139万円
●現年発生公共土木施設災害復旧費・工事請負費	3,179万円
●道路新設改良費・工事請負費	850万円
●道路橋梁維持費・需用費	812万円
●農業土木費・工事請負費（耕作放棄地等再生支援整備事業）	400万円
●身延学校給食費・賃金	377万円
●道路橋梁維持費・工事請負費	350万円
●林業振興費・報償費	255万円

## 条例改正

提案された条例の一部改正は、地方税法の一部改正する法律の公布に伴う改正内容。

- 身延町税条例の一部改正
  - ・住民税の納税義務者が町外に転出した場合も、特別徴収を継続する。
  - ・年金所得者の住民税の仮特別徴収税額の算定方法の改正。
  - ・公社債等と、上場株式等で課税方式に差異を解消し、金融所得課税の一体化に伴う改正。
- 身延町後期高齢者医療に関する条例の一部改正
  - ・延滞金の特例基準割合の見直し
- 身延町国民健康保険税条例一部改正
  - ・金融所得の一体化による所得規定の見直しほか。
- 人 事
  - ・人権擁護委員に「望月達也氏」を推薦。（住所：身延町下山5954番地）

平成25年度（千円以下切り捨て）

## 特別会計補正予算 全員賛成で可決

●国民健康保険特別会計	・・・	379万円減	（総額20億9,631万円）
●後期高齢者医療特別会計	・・・	16万円増	（総額 4億7,379万円）
●介護保険特別会計	・・・	427万円増	（総額22億5,451万円）
●簡易水道事業特別会計	・・・	1,058万円増	（総額 8億3,497万円）
●下水道事業特別会計	・・・	24万円減	（総額 4億4,175万円）
●青少年自然の里特別会計	・・・	2万円減	（総額 5,208万円）
●土地開発事業特別会計	・・・	4,404万円減	（総額 9,708万円）

平成25年12月定例会は、12月9日から12日までの4日間の会期で開かれました。町長提出の平成25年度一般会計補正予算1件・特別会計補正予算7件のほか、条例の改正5件、その他1件の計14件を審議しました。一般質問では4人の議員が9件について、活発な質問・意見を展開しました。

# 反対

今回の一部改正は、金融所得課税の一体化として、金融商品間の損益通算範囲の拡大を行うものである。

多様な金融商品に投資しやすい環境を整備するもので富裕層への優遇措置を一層進めるものである。

その結果、富裕層の税負担を引き下げ要因となり、格差拡大につながることをより反対する。

渡辺 文子議員

地方公務員の給与は、自治体が独自に条例をつくり、自主的に決めるのが地方公務員に定められた原則である。

その原則を踏みにじり、地方公務員の給与の引き下げを強要する。

公務員の給与を引き下げることとは、民間の賃金引き下げにつながり、地方経済をさらに疲弊させることをより反対する。

渡辺 文子議員

# 討論

## 身延町税条例の一部改正に対する討論

この条例は国の政策に基づき、株式売買に対する簡易措置という観点からの減税措置であることにより賛成する。

川口 福二議員

## 補正予算中人件費削減に対する討論

6月定例会で一般職員給与臨時特別条例が議決されているものであるので賛成する。

柿島 良行議員

## 請願

「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料の維持をもとめる意見書を提出することを求める請願

・請願者

重度心身障害者医療費助成制度を守る会

【要請項目】

一、「重度心身障害者医療費助成制度」の窓口無料化を現行のまま継続すること。

・紹介議員 渡辺文子議員

・提出先 山梨県知事

\*全員賛成で採択され意見書を県へ提出

# 議員でチェック!

## 渡辺文字議員

税条例の一部を改正する条例、これは金融の商品に投資しやすい条件整備、本町における対象者の数は。  
**税務課長**  
24年度において、48人の申告があった。

## 野島俊博議員

総務費中備品購入費、ネットワークスイッチについて導入の理由、なぜ補正なのか。  
**政策室長**  
機械の導入から8年以上経過しており、すでに生産中止、そして修理が不能と

いうことである。  
いつ故障してもおかしくない状態ということで、早急に交換をしなければなら

ない状態が発生してしまっ

## 青澤健拓議員

高齢者福祉費の扶助費900万円の減額の内容は。

## 福祉保健課長

当初46人の見込みで計上をしたが、4月からの9カ月実績で38人に減ったことにより減額した。

## 青澤健拓議員

道路橋梁維持費の需用費の修繕費800万円の内容は。

## 建設課長

緊急度、または区の要望等を検討する中、今回800万円の追加補正である。

## 渡辺文字議員

職員給与、6月定例会で身延町一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例の具体化ということで、大体900万円ぐらい減額という説明であったが、計算では1105万円になっているがその理由は。

## 総務課長

職員の給与の特例だけではなく、管理職が1人辞めたための調整により、金額として1000万円を超えたということである。

## 松浦隆議員

和紙の里運営費中委託料、レスター設定変更業務についての内容は。

## 生涯学習課長

和紙の里売店のレスターの設定業務を変更するもの。内容は、来年の4月に改正される消費税アップに対応するためのレスターシ

ステムの変更である。時期的に業務が混むということがあり早めの対応を考えた。

## 松浦隆議員

今、なぜ和紙の里だけなのか。

## 生涯学習課長

物品等がたくさんあるところは和紙の里、それから金山博物館の売店があるが、金山博物館は担当職員とも協議した結果、手打ちで十分対応できる数量的な内容になってくるためである。

## 川口福三議員

土地開発事業特別会計繰出金5139万円について、丸滝の分譲関係と関係が、現在まで用地取得費を含めて、どのくらいの金額になっているのか。

## 政策室長

25年度は合計9708万4千円。24年度からの金額は、1億6055万5568円である。

これ以外に、土地開発基金繰入金が4404万円である。

## 川口福三議員

衛生費の災害用備品の内



整備が進められる災害用備品

容と配備場所は。

## 福祉保健課長

大規模災害時、医療救護所となる福祉保健センター等4か所に、医療救護セット、担架、発電機等の(救護所で使用する)資機材を配備する。

## 環境下水道課長

コンクリートの腐食が原因と考えられる道路陥没等の事例が全国で発生していることに伴い、国から調査依頼があり、目視による点検をするものである。

## 野島俊博議員

下水道事業費中・委託料における硫化水素による腐食個所緊急点検業務が計上されているが、この緊急点検の補正計上の理由は。

ここが聞きたい!

# 一般質問



芦澤 健拓 議員

## 道路整備計画

# 問 三沢―市之瀬バイパス実現を

## 答 今後も県へ要望をしていく

**問** 旧下部町が作成した「道路整備計画」は新町へ引き継がれているか。

**建設課長** 継続中の事業として新町へ引き継ぎがされている。

**問** 合併後「新身延町道路整備計画」が策定され、「取り組むべき課題」となっていると思うが。

**町長** 中部横断道「仮称中

富インター」と3000号線との接続等の構想も含めて、今後も県に要望を

している。

### 町長のビジョンは

**問** 現在、日本経済は上昇傾向であるが、政治・経済状況を踏まえ、町長の現状認識と将来展望を聞く。

**町長** 日本経済は不景気を脱出したとみているが、

26年4月の消費税率引き上げによる景気の落ち込みが予想され、外交・原発など問題が山積している。将来の見通しは、景気回復を期待しつつ、慎重な行政運営をしていかなければならないと考える。

**問** 町長は「負の遺産を残さないように」という考えで取り組んでいる。

町民は、必要なことは金を使っても、町政に積極的に取り組む姿勢があるかどうかを知りたいが、今後、町の活性化にどのように取り組む所存か。

**町長** 27年度には交付税の合併算定替えが終わり、交付税は確実に減る。地方債残高を減らすために繰上償還を実施して

いるが、必要な施策は今後も続けていく。

### 小中学校統合問題

**問** 峡南5町の中学校卒業生数の減少率は、富士川・南部・身延・早川の順であると予測されている。もともと減少率が低い市川三郷町は21%であり、学校を残すこととする努力の表れであると思われる。

地域の歴史や文化の中心である学校を統廃合し、歴史を変えようとしている。たった5人の教育委員でこの大事業を行っているが、これについて恐れのようなものを感じることはないか。

**教育委員長** 非常に大きな計画であり、恐れのようなものを感じている。重く受けとめ、小規模

校の児童生徒のためであることを入念に進める。

**問** 前教育長は説明会で「全てがこの計画書のおりではない」と言っていたが、久那土・古閑地区の反対署名を重く受け止めているならば「修正・再提案を考慮しなければならぬ状況ではない」という教育長の回答は許されないと思うが。

**教育長** これは計画書であり、不測の事態が起れば修正はありうるという意味合いである。

後期統合計画は、現在何一つ実現しているわけではないので、先行きを断定することはできない。反対もあることは考えており、反対署名を不測の事態とすることは当たらないと思う。



県道市川三郷―身延線 久那土・北側区間  
高度差100m 急傾斜 急カーブが多い



松浦 隆 議員

学校統廃合問題

問 学校が無くなる地域があるのは不公平ではないか

答 答申での設置場所は白紙委任を受けたと考え計画した

学校統廃合後期計画

問 統廃合は理解するが後期計画の進め方は理解できないと反対署名があるが、この保護者の思いを理解しているか。

教育長 保護者の考えは承知している。一部地域の1300余人の方から反対署名が提出されたことを重く受け止めている。

問 身延中学校校舎の建て替え時期が迫っている。町の中心に新設する考えは

教育長 収容規模、施設の充実を考え、既存の校舎を使用する計画で新設の考えはない。

問 中学校校舎の新設計画の時期が来ている。将来的な教育ビジョンを示し、統廃合計画の理解を求めるときではないか。

教育長 現在できる最善策

は後期統合計画である。校舎新設等の計画策定はその後の話だと思う。

問 後期計画の配置では学校が無くなる地域がある。不公平ではないか。

教育長 答申で、設置場所については白紙委任を受けたと考え計画した。

問 小学校の北部学区は西島小学校と計画されたが、ハザードマップに堤防が決壊し水没するとある。安全面の配慮は。

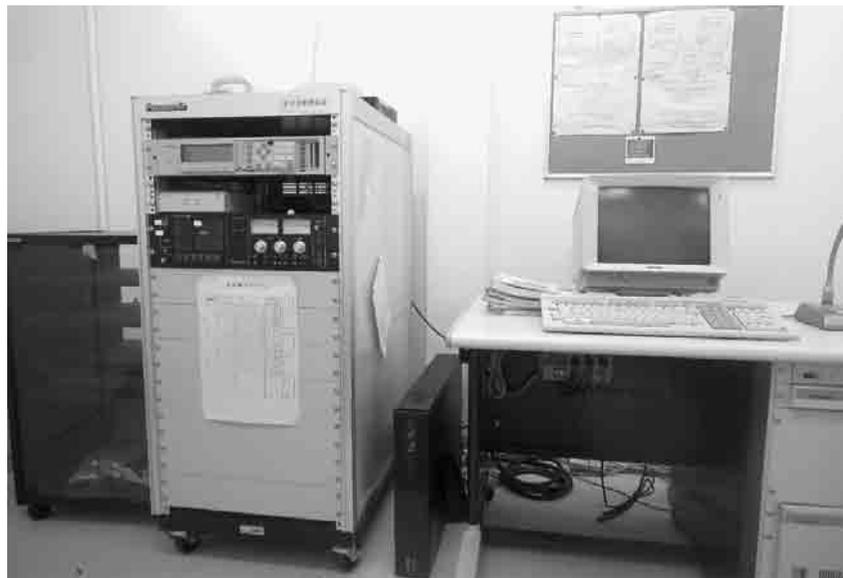
教育長 何十年に一度の豪雨等を想定したもので、堤防の決壊はないと判断した。決壊するような場合は前兆現象等もあり、対処できると考える。

問 保護者は確実な安全と教育環境を望んでいる。今後、その点を勘案した計画変更はあるのか。

教育長 何点かの問題点は

あるが、現段階での計画変更は考えていない。

問 県教委の中高一貫校計画との関連は。



下部告知放送システム・センター機 (下部支所内、下部地区機械室内設置)

教育長 現在二つの計画がどのような関連性を持つかわからないが、重要なことなので今後注視する。

防災放送音告知機

問 下部地区の防災無線告知機の故障の原因は。

下部支所長 下部支所設置のセンター機の故障によるものがある。

問 今後の対応は。

総務課長 現在計画中のデジタル化工事を、下部地区で優先的に進めたい。また、非常時には消防団との連携を図り、消防車両での巡回周知を依頼、短時間での情報伝達が可能なる状況を構築したい。

同時に、下部支所と各区長さんや組長さんとの連絡網の検討を進める。



深澤 勝 議員

# 問 宅地分譲事業で定住人口の確保対策を

宅地分譲事業

## 答 点在する町有地を活用した分譲事業を進める

### 宅地分譲事業

**問** 働き盛りの若者の定住

が町を元気にし、活力を生み出す施策として、鎮守の森構想の実現および中部横断自動車道の開通通勤距離の大幅な拡大が見込まれる等最大のチャンスと捉え、荒廃農地および廃校跡地等、町有地の有効活用により、宅地分譲事業の必要性と、今後の取り組み方針は。

**政策室長** 中部横断自動車

道には町内3箇所のインターチェンジおよび南部インターチェンジ、六郷インターチェンジと合わせ5箇所が利用できるため、完成後は地域住民の利便性がよくなり、通勤圏が拡大することから、点在する町有地を活用した宅地分譲事業を進めて

と。

### 丸滝、宮の前宅地分譲事業造成工事について

**問** 早期完成を指導徹底さ

れ一日も早く分譲する努力により、町が投資した金額の早期回収に努めるべきと考える。

今回の議案で不動産売

買収入9543万円の減額補正が提出されているが、いつ分譲売却する計画であるのか。

**政策室長** 25年度中の分譲

できなくなったので、来年度の早い時期、4月以降早々にしたい。

**問** 当該分譲地は、何区画で

一区画の平均的な面積は。

**政策室長** 区画数は19区

画、平均面積は350平方メートル、106坪の予定。

**問** 分譲単価等、平均単価

を示されたい。

**政策室長** 土地購入費用を

勘案し、定住促進を念頭に検討していく。

**問** 消費税率が4月から8

パーセントに値上げされるが、消費税は賦課されるのか。

**政策室長** 宅地分譲には消

費税は影響しない。

**要望** 分譲単価の割引制度

について、働き盛りの人や、子育て世代の若い人たちが、分譲地を買い求めやすくする手法としていくつかの条件を付加する中で、分譲単価を割引く等、若い世代が買い求めやすい制度を構築し、町内外から定住者の確保と、若者にやさしい町づくりを提案する。



旧ショッピングセンター「コマ」解体工事



丸滝宮の前宅地分譲造成工事状況



渡辺 文子 議員

学校統廃合問題

問 住民の不安や不満についてねいに答えるべき

答 計画を変更する状況にはない

学校統廃合問題

**問** 町議選で町内を回ったが、学校がなくなる地域だけでなく、この広い町に学校が1中3小でいいのかという声が多い。

**教育長** いろいろな意見があつて当然だと思う。

**問** 身延中まで通学できないと転出したり、引越越しを考えているという話を聞いたが。

**教育長** 説明会の中でもそのような話は聞いている。

**問** ただご理解をというだけでなく、保護者や地域の方の不安を解消し、不満をひとつひとつ解決する努力をしなければ信頼関係はつくれない。

**教育長** 賛成の意見についてどうするかも考えなければならぬ。

乗合いタクシーの運行拡大を

**問** 20年から乗合いタクシーが始まり、大変喜ばれている反面、利用している。地域的に利用できないという声も聞いているが、運行拡大は。

**政策室長** 下部南部は常葉までを長塩まで延ばし、身延地区の大島、清子から飯富に行くコースは波高島からも乗れるように試行運転を始めた。運行されていない24集落も歩いてみて決めたい。

**問** 乗り合いタクシーが運行されていない集落のみなさんは大変不便な生活をされながら待っているが。

**政策室長** なるべく早く現地確認をしながら、オペレーターや運転手のみなさんの意見を聞きながら

解消したい。

要支援者のサービス切り捨ての撤回を要望

**問** 厚生労働省は介護保険の要支援者への保険サービスの全廃を世論や運動に押され撤回したが、訪問介護、通所介護はあくまで市町村に移管するとしている。影響する人数は。

**福祉保健課長** 要支援1、要支援2を合わせて168人で訪問サービス43件、通所サービス84件の利用。

**問** ほとんどが訪問や通所サービスになる。全国町村長会でも、国の責任で全国一律のサービスをするようにと新聞報道があった。要支援のサービス切り捨てをさせないため町からも声を上げる必要

があると思うが。

**福祉保健課長** 明日の内容について県の説明があるのでそれを受け対応したい。



運行拡大が望まれる〈みのぶ乗合タクシー〉

# 臨時会開催

10月臨時会

10月4日開催

11月臨時会

11月6日開催

## ◆工事請負契約

・丸滝宮の前宅地分譲造成  
工事請負契約の件

定住促進を目的とした宅地  
分譲造成工事

契約金額

5932万5千円

区画 19区画

26年3月中旬に完成予定

26年度から販売開始予定

## ◆議員改選に伴う議会議長 の件

・議長、副議長選挙

・各常任委員会委員の選  
任

・議会運営委員会委員の選  
任

・議会広報編集委員会委員  
の選任

・組合議員の選挙

（議会構成の詳細は、11月  
発行の号外をご覧ください。）

## ◆人事案件 5件

・教育委員の任命  
大野 片田 駿三氏

・監査委員の選任  
下田原 伊藤 文雄氏

・固定資産評価審査委員の  
選任

古関 内藤 富夫氏

身延 望月 和永氏

久成 秋山 和子氏



## ☆議会の傍聴にお出かけください。☆

議会定例会は、3月上旬から中旬を予定しています。

日程等は決定次第、町政カレンダー、ホームページ等でお知らせします。

◇問い合わせ先 議会事務局 電話0556-42-4807

# 議 会 組 合

## 定例会・臨時会

### 飯富病院組合議会

◆9月27日定例会

◇規約改正  
組合を組織する議員定数  
の改正

◇平成24年度病院事業会計  
決算認定

◇平成24年度決算に基づく  
病院事業の資金不足比率  
の報告

◇平成25年度病院事業会計  
補正予算（第2号）

◆11月14日臨時会

◇監査委員の選任  
副議長 渡辺 文子  
監査委員 柿島 良行

◆12月19日定例会

◇平成25年度病院事業会計  
補正予算（第3号）

◆11月25日臨時会

◇議会構成変更の件  
議長 福與 三郎  
議会運営委員長  
川口 福三

監査委員 深澤 勝

### 峡南広域行政組合議会

◆10月17日定例会

◇職員給与条例改正  
特殊勤務手当支給見直し  
に関する改正

◇平成25年度一般会計補正  
予算（第3号）

◇平成25年度介護保険特別  
会計補正予算（第1号）

◇平成25年度峡南ふるさと  
市町村圏特別会計補正予  
算（第2号）

◇平成24年度一般会計決算  
認定

◇平成24年度介護保険特別  
会計決算認定

◇平成24年度峡南ふるさと  
市町村圏特別会計決算認  
定

◆11月22日臨時会

◇職員給与条例改正  
県人事委員会勧告に伴う  
改正

◇平成25年度一般会計補正  
予算（第1号）

◆10月25日定例会

◇平成24年度後期高齢者医  
療特別会計決算認定

◇平成25年度一般会計補正  
予算（第1号）

### 後期高齢者医療 広域連合組合議会

◆10月25日定例会

◇平成24年度一般会計決算  
認定

◇平成24年度後期高齢者医  
療特別会計決算認定

◇平成25年度一般会計補正  
予算（第1号）

◇平成25年度後期高齢者医  
療特別会計補正予算（第  
1号）

◇議会構成変更の件  
◇人事案件

# 議会広報編集委員研修会

## “『読者視点の議会広報』を創ろう”

### 議会広報に求められるものは？

議会広報編集委員会  
委員長 野島 俊博

研修日

平成25年11月26日

会場

役場本庁舎議員控室

参加者

・河井議長

・議会広報編集委員  
6人全員

・議会議務局 2人

講師

深沢 徹先生

(広報コンサルタント  
・身延町大野在住)

研修目的

今回の広報委員6人の

うち5人が初めてとい

ことで、基本を伝授し

ていただく。

内容

ありのままに、分かりや

すく、住民とともにを副題

に講義を受けた。

・本物の議事公開を！

議会の重要な情報を的確

に確実に報道すること。

・政策提案、行政チェック

の姿勢を！

調査研究、検証、追跡の

姿勢と企画を持って、住民

に報道すること。

・読者が読む気になる広報

づくりを！

役所言葉は外国語のよう

に感じている読者も多いの

で分かりやすい言葉で読み

やすくすること。

等々

その他、多くのことを学

ぶことができた。

今回の研修内容をいつも

思い出し、作り手の自己満

足ではなく、読者に満足し

ていただく広報を目指して

いきます。

大変貴重な研修であった。



読者満足の議会広報を目指して！  
議会広報編集委員研修会開催

### 議会日誌

(9月～12月)

9月

・9月定例会

・議会活性化等調査検討

特別委員会

・国文祭 国際切り絵コ

ンクールオープニング

セレモニー

・自衛隊殉職隊員山梨県

地方追悼式

平成・南部藩一日国替

え事業

・久那土、身延中学校学

園祭

・町内小学校運動会

・町内保育所運動会

・例月出納検査

・功德会、みのぶ荘敬

老会

10月

・第3回議会臨時会

・本栖湖西岸クリーン

作戦

・身延町の教育を語る会

・防災行政無線施設工事

安全祈願祭

・林道三石山線開通式

・例月出納検査

・美術展「工芸」オープ

ニングセレモニー

11月

・小倉百人一首かるた競

技全国大会開会式

・みのぶまつり

・第4回議会臨時会

・町村議長全国大会

・町村議会新人議員研修

・監査委員任命書交付式

・子ども・若者育成支援

身延町推進大会

・例月出納検査

・身延町消防団操法披露

・議会広報編集委員研修

・町村議会広報編集委員

長会議

・町村議会運営委員長

会議

・南アルプス周遊自動車

道整備促進期成同盟会

総会

12月

・12月定例会

・町村議会議長会議

・身延町景観審議会

・議会広報フォトリーダ

ー・モニター意見交

換会

・例月出納検査

・沖縄県八重瀬町交流

事業

# モニター通信

議会広報モニターのみなさまから  
議会だよりNo.36についての、感想等をいただいたものです。

## ◆表紙について

- ・分割写真が新しい試み、デザインに少し工夫を。
- ・写真に学園祭の名前も載せるといい。

## ◆町民と議員との懇談会

- ・議会運営等の報告、町民の意見を聴く取り組みはよい。継続してほしい。
- ・学校統廃合問題については、地域の特質を表わした懇談会だと感じた。議決された件に議員が意見を言えないというのはおかしい。

## ◆決算認定

- ・紙面のつくりは非常に見やすいが、字の列記では内容が理解できない。
- ・人件費の占めている割合について、今後の動向を見たい。

## ◆委員会レポート

- ・開催日数等、日程を明示したらどうか
- ・写真がすべて同じようなもので、一考が必要。

## ◆9月定例会で決まったこと

- ・専門用語には、説明があるとわかりやすい。
- ・「議案に対する賛否」は、討論との比較ができるので見やすい。

- ・議員発議の内容を抜粋で載せたかどうか。

- ・「議案に対する賛否」の表は、好ましくない。

## ◆一般質問

- ・紙面の構成はよい。4人が学校統廃合の内容で、議会と教育委員会が協議をする場がなかったのか。

- ・学校統廃合反対の人たちの子ども（孫）は、地域に残り、地元の学校へ通学しているのか。

- ・町長には、長期的な定住促進ビジョンを早急に示してほしい。

## ◆研修報告

- ・町民が心待ちするような「議会だより」の発行を期待する。

## ◆町長行政報告

- ・行政改革実行プランの成果を期待する。

- ・項目ごとに説明があり、わかりやすい。

## ◆保育所めぐり

- ・保育内容が充実していることに驚いた。また、子どもは地域で育てるといふことの実践が生きている。

## ◆町政全般の意見・要望

- ・懇談会で町財政の説明を受け、負の資産が多いことを踏まえ、町民が負担を覚悟しなければならぬと感じた。財政難を理由に政策また事業も制限が多くなるが、最良の選択をしなければならぬ。

- ・新町議には、各地域の代表者という地域のエゴも理解できるが、身延町の議員であるという大局的な考えのもと、町全体の発展のため、尽力してほしい。

## 議会広報フォトリーダー・ モニター意見交換会開催



貴重なご意見をいただき『読者視点の議会だよりを…』

12月17日議会広報フォトリーダー・モニターのみなさんと議会広報編集委員との意見交換会が行われました。

・読みやすく、分かりやすい議会だよりについての貴重なご意見を多くいただき、今後の議会だよりに反映していきたいと思っております。

「親しみのある議会だよりを  
目指して・・・」

# 町内保育所 保育園めぐり

# 保育園は大家族

# 大野山保育園

●旧大野山保育園と大島保育園が統合し、社会福祉法人清和福祉会大野山保育園の名称となり平成20年10月にスタートしました。昭和26年5月5日に開園した旧大野山保育園と地域の要望で開園した大島保育園は、昭和31年以来約3000人の卒園児が巣立って行き、現在に至っています。

多くの保護者の方々を始め身延町役場行政関係者、地元の町議のみなさん、地域住民の方々のご支援ご協力に感謝でいっぱいです。

## ●園の一日

さて、保育園の一日はとても活気があります。日常生活を多くの同年齢のお友だちと過ごす大家族の家です。友だち同士で、いろいろな事を学ぶ場でもあります。乳児から就学前までを対象に保育させていただいています。

最近では6年保育のお子さんもいます。日々成長する園児の姿からたくさんさんのパワーをもらっています。ミルクから離乳食に移行し、ハイハイが出来、独り立ちし、一歩二歩と足を運んだ時の喜びや感動を保護者と共有できる嬉しさ、歩き始めた時の満面の笑顔、箸が持てるようになったこと、縄跳びができるようになったこと等々、できなかったことができるようになった時の子どもたちの表情は輝いています。また、お友だちと遊んだり、けんかしたり、仲良くなったりの繰り返し、仲間意識が芽生え、ルールを守る大切さを覚えます。

## ●大切にしていること

大野山保育園で大切にしていることは、相手の顔を見て元気な声で挨拶をする。履物を揃える。両手を使う、手を添える所作を身につける。「ありがとう」が素直に言える子どもに育つよう、



●絵本読み（地域交流）●



●おかわりコーナー●



●麦かり●

## ●保育の理念

先代理事長は、「子どもは家の宝、国の宝だよ、大事に育てなければなあ」と常に言っていました。私たちも理事長が残してくれたことは「児童は家の柱なり」を保育の理念として心ひとつに大家族を育んでいます。

## 大野山保育園

（園長 沢村 和子）



運動会：力あわせて「よいしょ!!」  
会場：身延町総合文化会館芝生広場